

# 校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成30年3月23日 NO.25 (154)

## 平成29年度 卒業式 学校長式辞より

国立第七小学校のサクラの花もようやく咲き始め、明るい春の陽射しに包まれる今日のこの良き日。卒業生のみなさん。ご卒業おめでとうございます。

本日、みなさんのお祝いのためにたくさんのお客さんが来てくれました。卒業生、保護者、教職員を代表して、お礼を申し上げたいと思います。(しっかりと向いて)本日は、ご多用の中、国立第七小学校卒業式にお越し下さり、ありがとうございます。

さて、保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。小学校の全教育課程を修了し、新たに巣立ちゆく子供たちの姿は、とても立派で凛々しく輝いております。

保護者の皆様にとって、これまで様々なご苦勞やご心配がたくさんあったかと思えます。子供たちにとっても、6年間という長い月日には、楽しい事、嬉しい事はもちろん、悲しくつらい事もあったことでしょう。そのような時、保護者の皆様が誰よりも心の支えとなり、温かく見守りと励ましがあったからこそ、今日のこの良き日を迎えることができたのだと思います。保護者の皆様におかれましては、我が子の成長を目の前にして、感慨深いことと存じ上げます。

さて、卒業生の皆さん。私は今までにいろいろなお話をしてきましたが、今日がその最後です。そこで、今日は、どんなお話をするかというところとあるものを見せます。それは何かというと……。 (ここで、赤いTシャツを見せる)

これは、校長先生の宝物である赤いTシャツです。どうして持っているかということ、何年か前の校長先生のお誕生日に、国立第七小学校の先生や職員の皆さんからいただいたものです。

これまで校長先生は、何度も誕生日を経験してきましたが、今までで、一番うれしい誕生日でありました。そして、最高のプレゼントだと感じています。ただの赤いTシャツですが、先生や職員の皆さんの心のこもった手作りのものです。よく見ると、「感謝」と「尊敬」という言葉が書かれています。これは、ある先生が書かれたものです。なぜこの言葉が書いてあるのでしょうか。

先日、もう一度、笹河副校長先生に、どうしてこの言葉なのかと詳しく聞いたみたところ、「いつも校長先生がよく言われている言葉ですよ。感謝と尊敬が大切だ大切だとよく言われていたので、みんなでこの言葉にしたんです。」との事でした。

私が出張で学校にいない時に、先生方が、私のサプライズ誕生会を計画してくれたそうです。誕生日当日は、笹河副校長先生のギターによるハッピーバースデーの合唱で始まり、紙吹雪が飛んだりしました。さらに、副校長先生は、私に内緒で校長先生の奥さんに電話をして、サプライズお誕生会をするから、お手紙を書いてほしいと連絡までしてくれたそうです。息子や娘まで手紙を書いてくれ、それを先生や職員みんながいる前で読んでもらいました。あまりの感激にたくさん涙を流してしまったことが思い出されます。そして、それと同時に、またまた改めて国立第七小学校の先生や職員のみなさんのあたたかな思いに、感謝の思いをもちました。七小の教職員のみなさんがみんなとても優秀でステキな人達であり、私にとっては自慢の教師集団、職員集団であると感じています。学校は校長先生一人では何もできません。たくさん先生や職員の方々と共に、子供たちのことを真剣に考え悩み、一つ一つ解決に向けて努力してきました。これまでの教職員の並々ならぬ仕事ぶりや丁寧な指導、誠実な対応に、感謝の言葉を送りたいと思います。高い所から申し訳ありません。(教職員の方を向き) どうもありがとうございます。

ところで、卒業生のみなさん、この言葉、「感謝と尊敬」、いい言葉だと思いませんか。私の大好きな言葉です。人が学校や社会で生活していくのに、様々な人と関わりをもって生きています。感謝は人間関係がうまくいくコツでもあります。感謝の心は人を育て、感謝の心が自分を磨いていくのです。感謝する心は尊敬の気持ちになり、尊敬する心があれば、人からまた感謝され、尊敬されるようになると思います。また、ありがとうという言葉は、魔法の言葉だと思います。ポケットにしまっておいてはいけません。きちんと言葉として言っていくことこそ大事であり価値あるものだと深く思います。

そこで、卒業生の皆さん、卒業式のこの場でこれまでお世話になったたくさんの人達に、感謝と尊敬の気持ちを込めて「ありがとうございました。」と大きな声でいいますか。運動会の閉会式でいつも言っていたね。それと同じように、6年間の感謝の思いを心いっぱい込めて言いたいです。校長先生も一緒に言います。校長先生が先に言ってあげますね。静かに立ってください。

(先生達・地域の皆さん・保護者のみなさんの順に向い……)

卒業生のみなさん、どうもありがとう。静かに座ってください。

卒業生みなさんの将来が、明るく健康で、希望に満ちたものになることを、心より深く深く祈り、私のお話を終わりとさせていただきます。ご卒業おめでとうございます。終わります。